

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和2年9月10日 (2020.9.10)

【公開番号】特開2019-24836(P2019-24836A)

【公開日】平成31年2月21日 (2019.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2019-007

【出願番号】特願2017-146298(P2017-146298)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和2年7月27日 (2020.7.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

抽選を行う抽選手段を備え、前記抽選の結果にもとづいて遊技が進行する遊技機であって、

演出にかかわる画像を表示可能な第 1 画像表示領域と、

前記第 1 画像表示領域と鉛直方向にずれた位置において画像を表示可能な第 2 画像表示領域と、

前記第 1 画像表示領域および前記第 2 画像表示領域に表示される画像にかかわる制御を実行可能な画像表示制御手段と、

を備え、

前記第 1 画像表示領域は、

前記第 2 画像表示領域とともに連続性のある領域を形成可能であり、

前記画像表示制御手段は、

前記第 1 画像表示領域と前記第 2 画像表示領域とが鉛直方向にずれた位置において画像を表示可能であるなかで、前記第 1 画像表示領域と前記第 2 画像表示領域とで連続性のある画像を表示可能に構成される

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記画像表示制御手段は、

前記第 1 画像表示領域と前記第 2 画像表示領域とで連続性のある画像の表示にかかわる制御と、前記第 1 画像表示領域と前記第 2 画像表示領域とでそれぞれ独立した別の画像の表示にかかわる制御とを切り替えて制御可能に構成される

ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記抽選の結果に基づいて作動可能な可動役物をさらに備え、

前記第 1 画像表示領域は、

前記第 2 画像表示領域とで連続性のある画像を表示可能でありながらも、前記第 2 画像表示領域との間に演出空間が形成されるように前記第 2 画像表示領域よりも後方において画像を表示可能であり、

前記可動役物は、

前記抽選の結果にもとづいて、前後方向における前記第 1 画像表示領域と前記第 2 画像表示領域との間に形成される前記演出空間に進出可能に構成される

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

( 1 ) 本発明に係る遊技機は、

抽選を行う抽選手段（例えば、メイン CPU 7 2 1）を備え、前記抽選の結果にもとづいて遊技が進行する遊技機であって、

演出にかかわる画像を表示可能な第 1 画像表示領域（例えば、上側リアスクリーン 2 9 0 2）と、

前記第 1 画像表示領域と鉛直方向にずれた位置において画像を表示可能な第 2 画像表示領域（例えば、下側リアスクリーン 2 9 0 4）と、

前記第 1 画像表示領域および前記第 2 画像表示領域に表示される画像にかかわる制御を実行可能な画像表示制御手段と、

を備え、

前記第 1 画像表示領域は、

前記第 2 画像表示領域とともに連続性のある領域を形成可能であり、

前記画像表示制御手段は、

前記第 1 画像表示領域と前記第 2 画像表示領域とが鉛直方向にずれた位置において画像を表示可能であるなかで、前記第 1 画像表示領域と前記第 2 画像表示領域とで連続性のある画像を表示可能に構成される

ことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

上記（ 1 ）の遊技機によれば、第 1 画像表示領域と第 2 画像表示領域とで連続性のある画像が表示されるため、興趣を高めることが可能となる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

( 2 ) 上記（ 1 ）に記載の遊技機において、

前記画像表示制御手段は、

前記第 1 画像表示領域と前記第 2 画像表示領域とで連続性のある画像の表示にかかわる制御と、前記第 1 画像表示領域と前記第 2 画像表示領域とでそれぞれ独立した別の画像の表示にかかわる制御とを切り替えて制御可能に構成される

ことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記(2)の遊技機によれば、より一層、興趣を高めることが可能となる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

(3) 上記(1)または(2)に記載の遊技機において、

前記抽選の結果に基づいて作動可能な可動役物（例えば、大型役物本体部230）をさらに備え、

前記第1画像表示領域は、

前記第2画像表示領域とで連続性のある画像を表示可能でありながらも、前記第2画像表示領域との間に演出空間が形成されるように前記第2画像表示領域よりも後方において画像を表示可能であり、

前記可動役物は、

前記抽選の結果にもとづいて、前後方向における前記第1画像表示領域と前記第2画像表示領域との間に形成される前記演出空間に進出可能に構成される

ことを特徴とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

上記(3)の遊技機によれば、より一層、興趣を高めることが可能となる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】